

第九十回帝國議會 臨時通貨法の一部を改正する法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

臨時通貨法の一部を改正する法律案
(政府提出)
軍人及び軍屬以外の者に交付された
賜金國庫債券を無効とすることに關
する法律案 政府提出

昭和二十一年七月二日(火曜日)午前十
時二十分開議

出席委員

委員長代理 理事荒船清十郎君

理事八木佐太郎君 理事松永 義雄君

小野 眞次君 山田 善三君

坪川 信三君 中山 たま君

島田 晋作君 田村 定一君

松永 義雄君 原尻 東君

坪井 龜藏君 和崎 ハル君

伊藤 恭一君

七月一日委員石原登君及河野金昇君辭
任ニ付其ノ補闕トシテ原尻東君及坪井
龜藏君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

大藏事務次官 上塚 司君

大藏事務官 楠田 光男君

委員長ノ許可ヲ得テ出席者 青木清左エ門君

本日ノ會議ニ付シタ議案

臨時通貨法の一部を改正する法律案
(政府提出)

軍人及び軍屬以外の者に交付された
賜金國庫債券を無効とすることに關
する法律案 政府提出

○荒船委員長代理 是ヨリ開會致シマ
ス、先ヅ政府ノ説明ヲ求メマス、大
藏政務次官上塚司君

○上塚政府委員 本委員會ニ付託ナ
リマシタ臨時通貨法ノ一部ヲ改正スル
コトニ關スル法律案外一件法律案ニ付キ
マシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シマ
ス、現在主トシテ流通シテ居リマス小
額通貨ニハ、臨時通貨法ニ依ル五十錢
ノ小額紙幣十錢、五錢及ビ一錢ノ臨
時補助貨幣ト、更ニ十錢及ビ五錢ノ日
本銀行券ガアルノデアリマスガ、其ノ
中小額紙幣及ビ小額ノ日本銀行券ハ流
通ニ不便デアルノミナラズ、耐久期間
ノ短イ爲メ、常時製造補助給付必要ト
シ、資材及ビ製造能力ノ點カラ相當ノ
負擔ナルノデアリマス、更ニ其ノ
圖案ハ、聯合軍最高司令部ノ勅書ニ
依リ禁止セラレタ題材ヲ使用シテ居リ
マスノデ、政府トシマシテハ可及的速
力ニ是等ノ紙幣及ビ銀行券ヲ回收シ、
通貨制度ヲ戰時ノ應急的體制カラ平時
的體制ヘ復歸整備致シタイノデアリマ
ス、是ガ爲メ先ヅ第一ニ臨時通貨法ニ
依ル臨時補助貨幣ニ新タニ五十錢ヲ追
加致シタイノデアリマス、更ニ同法ニ
依リ是等ノ補助貨幣及ビ小額紙幣ハ、
今次戰爭終了後一年ヲ經過シタ後ハ發
行シ得ナイコトニナツテ居ルノデアリ
マスガ、現在ノ素材供給狀況カラ見
マシテ、貨幣法ニ依ル補助貨幣ノ製造發
行ハ當分ノ間不可能ト認メラレマス
ノデ、今後モ當分ノ間、臨時補助貨幣
及ビ小額紙幣ノ發行ヲ繼續シ得ルコト
トスル必要ガアルノデアリマス

次ニ昭和十五年法律第六十九號ノ規
定ニ依リ發行シタ公債、軍人及ビ軍
屬ニ交付サレタモノ以外ノモノヲ無効
トスルコトニ關スル法律案ニ付キマシ
テ、其ノ提案ノ理由ヲ御説明致シマス

昭和十五年法律第六十九號ノ規定ニ
依リ發行致シマシタ公債、即チ賜金國
庫債券ノ中、軍人及ビ軍屬ニ交付サレ
タモノニ付キマシテハ、茲ニ昨年十一
月二十四日附聯合軍最高司令部ノ指令
ニ基キマシテ、本年二月二十七日勅令
第百十二號ニ依リ無効ト致シタ次第デ
アリマスガ、本件實施ノ及ボス社會
的影響等、諸般ノ事情ヲ勘案致シマシ
テ、本法案ハ軍人軍屬以外ノ者ニ交付
サレマシタ賜金國庫債券モ亦無効トス
ルモノデアリマス、即チ一般文官等軍
人軍屬以外ノ者ニ交付サレタ場合ニ於
キマシテモ、賜金國庫債券ハ專ラ戰爭
ノ論功行賞トシテ交付サレタモノデア
リ、此ノ點文官恩給等ノヤウニ官吏ノ
生活ヲ保障スル爲メ、平時ニ於テモ支
給サレルモノト本來其ノ性質ヲ異ニス
ルモノデアリマス、軍人軍屬以外
ノ者ニ交付サレマシタ、賜金國庫債
券ヲ、今後尙ホ有效ナルモノトシテ存
續セシメマスルコトハ、適當ノ缺點モ
ノト認メラレル次第デアリマス、仍チ
政府トシマシテハ、軍人軍屬ニ交付
サレマシタ賜金國庫債券ヲ無効ト致シ
マシタル今日、軍人軍屬以外ノ者ニ交
付サレマシタモノモ亦無効ト致サント
スルモノデアリマス、何卒御審議ノ上
速力ニ御贊成アラント御願ヒ申上
ゲマス

○荒船委員長代理 是ヨリ質疑ヲ許シ
マス、質疑ハ通告願ニ依リマシテ

○坪井委員 補助貨幣及ビ小額紙幣及
ビ小額ノ日本銀行券ノ發行デアリマス
ルガ、是等ハ其ノ發行ノ主體ニ於テ、
日本銀行券ヲ發行セバナラヌト云フ
理由ハ何處ニアルカ、之ヲ一ツ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス、尙ホ又新タニ發
行スル臨時通貨ニ於キマシテ、其ノ五
十錢ト十錢デアリマスルガ、斯ウシタ
終戰ニ於キマシテ、非常ニ總テノ物ガ
消耗サレテ居ル時ニ、特ニ斯ウシタ銅
ト力或、錫ト力云ツタヤウナ資材、戰
後我ガ國ノ總テノ凡ユル増産ノ本ヲナ
ス諸機械、或ハ是ガ資材トシテ最モ貴
重ナル物ヲ、此ノ機會ニ於テ之ヲ通貨
ニスルト云フコトハドウカ、是ハ小額
補助紙幣ニ於テ之ヲ發行スル方ガ非常
ニ國家トシテハ、此ノ國家ノ再建ヲ
シテ行クト云フ上ニ於テ、物ノ増産ヲ
スル上カラ見テ、其ノ方ガ適當デハナ
イカト云フ風ニ私ハ率直ニ考ヘマス、
之ニ付キマシテ大藏政務次官ノ其
ノ理由ヲ、ナゼ斯ウシタ素材ヲ使ハネ
バナラヌカ、其ノ方ガ宜イノダト云フ
其ノ理由ヲ一ツ御伺ヒ致シタイ、私ハ
此ノ過渡期ニ付テハ、小額ノ紙幣デ
先ヅ間ニ合ハシテ行クト云フコトノ方
ガ宜イヤウニ考ヘラレマス、以上二點
ヲ先ニ御伺ヒ致シマス

○上塚政府委員 第一點ノ方ヨモウ一
度御申サツテ下サイ

○坪井委員 第一點ノ方ハ補助貨幣、
小額紙幣、小額ノ日本銀行券ノ發行ガ
アリマスケレドモ、斯ウシタ發行ノ場
所ガ違ツテ居ルト思ヒマス、之ヲ政府
ニ於テ一元的ニスル方ガ總テ宜イノデ
ハナイカ、ナゼ此ノ日銀ノ小額券ヲ發
行セバナラヌカ、其ノ理由ヲ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス

○楠田政府委員 只今ノ御質問ノ第一
點ニ付テ私カラ御説明申上ゲマス、現
在ノ小額通貨ガ仰シヤイマシタ通り十
錢、五錢ニ付テハ日本銀行券ガ出テ居
リマス、其ノ他硬貨トシテ十錢、五錢、
一錢ガゴザイマス、其ノ他古イモノデ
五十錢其ノ他モ大體回收済ミニナツテ
居リマス、ソレカラ五十錢ノ紙幣ハ政
府紙幣ト相成ツテ居リマス、何故之ヲ
統一シナイカト云フ御尋ネナノデアリ
マスガ、此ノ臨時通貨法ニ依リマシテ
發行致サレテ居リマス補助貨幣、ソ
レカラ政府紙幣ノ方ノ小額紙幣ハ、全
部政府ガ發行致スコトニナツテ居リマ
ス、ソレカラ日本銀行ノ十錢、五錢ハ
日本銀行法ニ基キマシテ銀行券トシテ
發行致シテ居ル譯デアリマス、大體日
本銀行法ヲ作リマシタ當初ニ於キマシ
テ、斯ウ云フ意見ガ其ノ當時アリマシ
タ、詰リ紙幣ト申シマス、銀行券ト
申シマス、紙ノ形デ發行サレル通貨
ハ、日本銀行券ニ全部逐次統一シテ行
ク方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ
意見ガゴザイマシタ、ソレカラ補助貨
方ニ、硬貨ノ方ハ、是ハ一定ノ素材ノ
方ニ、何ト申シマスカ貨幣形態ニ直シ
マシテ、素材價值ヨリモ名目價值ノ方
ガズツト高クナル譯デゴザイマス、
斯ウ云ツタ點ニ付テハ、政府ニ於

テ依然發行スル方宜イノデハナイ
カ、硬貨ノ分ニ付テハ政府、紙ノ分ニ
付テハ日本銀行ト云フ風ニヤツテ行ク
ノガ宜シイノデハナイカト云フ議論ガ
アリマシタ、所ガ其ノ後小額紙幣ノ
中、五十錢ガ政府ノ紙幣トシテ出サレ
テ居リマシタノデアリマスガ、戰爭中
デアリマシタノデ、既ニ其ノ豫算ト云
ヒ、紙ト云ヒ、其ノ他ガ大量ニ用意致
サレテ居ツタ譯デアリマスカラ、之ヲ
急激ニ棄換ヘマスヲ、能率其ノ他ノ
點ニ於テ不便デアルノデアリマス、ソ
レデ從來五十錢ノ紙幣ハ其ノ儘ト致シ
マシテ、新タ二十錢ト五錢ノ小額紙幣
ヲ出サネバナラスヤウナ事態ニ當面致
シマシタ時ニ、日本銀行券ト致シマシ
テ出シマシタヤウナ次第ニナリマシ
タ、隨テ今小額通貨ガ、政府ト日本銀行
ト二ツニ分レテ出テ居ルヤウナ恰好ニ
ナツタ譯デアリマス、ソレデ今後ハ段
段ドウ云フヤウニナツテ行クカト申シ
マスルト、現在ノ小額紙幣ノ五十錢デ
アリマスガ、先程政務次官カラ提案理
由ノ御説明ガアリマシタ中ニゴザイマ
シタヤウニ、司令部カラ禁止セラレマ
シタ所ノ、例ヘバ靖國神社トカスウ云
ツタヤウナ圖案ガ使ツテアリマスノ
デ、今後之ヲ増刷發行致シテ行キマス
コトハ出來ナイヤウナコトニ、實ハナ
ツテ來タ譯デアリマス、ト同時ニ此ノ
紙ノ方ヲ使ツテ居リマスト、御承知ノ
ヤウニ取扱ヒガ非常ニ不便デアリマス
シ、廢減モ早ニ、隨テ大體ニ年カ二
位デボロノニナツテシマヒマス、類
案ニ之ヲ取換ヘナケレバナリマセヌ
デ、其ノヤウナ點カラ言ヒマス、紙
ノ方ガ却テ經濟ノ費用ノ點カラ見
テ、國家ノニ見テ損ニナル、ソレデ出
來レバ硬貨、金屬貨幣ノ方ニ補助貨ヲ

換ヘマス方ガ持運ビニ便デアリマス
シ、廢減其ノ他ノ點カラ言ヒマシテ
モ、長持チカスルコトハ分リ切ツタコ
トデアリマスノデ、出來ルダケ早クソ
レニ棄換ヘタイ、斯ウ云フ風ニ豫算ノ
思ツテ居ツタノデアリマスガ、戰爭中
ハ御承知ノヤウニ、金屬ハ殆ド之ヲ他
ノ用途殊ニ戰爭目的ニ使ヒマス、殊
「ニッケル」トカ、錫デアリマスカ、
中々出來ナクナリマシタ、「アルミ」ノ
如キモノハ殆ド使ヘナイヤウナ狀況ニ
ナツタ譯デアリマス、ソレデ使ヘマセ
ヌノデ、已ムラ得ズ紙ヲ使ヒマシタ、譯
デアリマス、今度終戰ニ相成リマシタ
カラ、金屬ニ若干ノ餘裕ガ出來テ來タ
譯デアリマス、貨幣法ニ於キマシテハ
銀貨デアリマスカ、或ハ青銅貨ト云
フコトガハツキリ決メラレテ居ル譯デ
アリマスガ、銀貨トカスウ云ツタモノ
ハ、既ニ貴金屬ト致シマシテ聯合軍ノ
管理ニ屬シテ居リマシタ、今使ヘナイ
狀況ニゴザイマス、ソレカラ「アルミ」
ハ今後ノ日本ト致シマシタハ、「アル
ミ」ノ製造自體ニ非常ナ制限ヲ加ヘラ
レマスノデ、之ヲ材料トシテ取ルコト
モ不適當デアリマス、サウ云フ譯デ色
色考ヘタノデアリマスガ、黃銅ト申シ
マスカ、通稱眞鍮デアリマス、是ガ彈
殼——彈ノ「ケルス」トカ、サウ云フ關
係デ終戰後非常ニ大量ノモノガ餘ツタ
ヤウデアリマス、之ヲ若干貨幣ノ方ニ
振向ケマスルコトハ、色々金屬ニ對ス
ル各種ノ需要ガ逼迫致シテ居リマス
ルガ、眞鍮ニ關スル限りハ若干ノ餘裕
ガアルト云フ風ナコトニ相成リマシ
テ、之ヲ以チマシテ新タニ五十錢ノ貨
幣ヲ造リマシテ、從來ノ政府紙幣デア
ル五十錢ヲ、漸次之ヲ以テ代替シテ行
ク方ガ凡ル點カラ見テ宜シイ、斯ウ

云フノデアリマシテ、五十錢ノ今度ノ
通貨法ノ申入レマスルコトヲ御提案
申上ゲマシタ次第デアリマス、大體第
一ノ點ニ付キマシテハ現在日本銀行ト
政府ノ兩方ノゴトニナリマスガ、ソレ
ハ先程申上ゲマシタヤウナ沿革ヲ以チ
マシテ來テ居リマス、今後ハ此ノ金屬
貨幣ガ出來マシレバ、金屬貨幣デ以テ
小額通貨ノ方ヲ中心ニ持ツテ行キタイ
ト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマス
ソレカラ第二ノ御質問ノ眞鍮ノ點ニ
付キマシテハ、終戰後ノ狀況ニ依リマ
シテ、眞鍮ニ關スル限りハ需給狀態ハ
若干之ヲ貨幣ノ方ニ廻シマシタモノ、ソ
レ程不都合デナイト云フコトニナリマ
シテ、斯様ナコトニナリマシタ譯デア
リマス、御諒承ヲ願ヒマス
○坪井委員 只今ノ御説ハ、將來ハ成
ベク政府ニ是等ヲ統一シヨウト云フ御
意思ノアルコトハ察ハレル譯デアリマ
スガ、是ハ當然政府ニ統一ヲサルベキ
デアルト私ハ考ヘテ居リマスノデ、是
非之ヲ一元的統一——此ノ補助貨幣並
ニ小額紙幣、日銀券ト云フモノハ總テ
ハ政府デヤルベキダト云フコトヲ考
ヘテ居ル爲ニ、統一願ヒタイト云フ希
望ヲ附加ヘテ御尋ネシタ譯デアリマ
ス、其ノ次ニ私ノ質問申上ゲタ此ノ今
ノ素材ノ不足シテ居ル時ニ、總テノ國
家再建ヲスルノニハ、色々斯ウシタ素
材ガ必要ダ、特ニ農村方面ノ農機具ヲ
作リマシテモ、重要ナ部分ノ合金トカ、
或ハ廢減スル所ニハドウシテモ合金ガ
必要デアリマス、ソレスラモヤハリ物
ヲヤラナクテハ農機具ヲ作ツテ具レ
イト云フ現狀ニアル爲ニ、斯ウシタ貴
重ナモノヲ都合ガ好イカラ便利ダカラ
云フコトデ行クヨリモ、先ヅ國家ノ
再建ガ出來テカラ——多少不便デアッ

テモ先ヅ此ノ小額紙幣ニ依ツテ暫ク苦
痛ヲシテモ、不便ハアツテモ、ソレニ
依ツテ行ヒ、何トカ生産能力ガ出來テ
カラ遂次變ヘテ行クト云フコトノ方
ガ、私ハ非常ニ國家ノ總テノ消耗ヲ再
建スルト云フ大キナ生産的見地カラ質
問申上ゲタノデアツテ、便不便カラ之
ヲスル、勿論其ノ方ガ便利デアリマセ
ウケレドモ、私ト致シマシテハサウシ
タ素材ガ若シ餘裕ガアルナラ、之ヲ生
産方面ノ素材ニ——之ヲ機械器具方面
ニ振向ケテ賣ヒタイト云フ意味ヲ強ク
持チマシテ、茲ニ質問シタノデアリマ
ス、之ニ付キマシテサウシタ便不便カ
ラ必要デアルカ、ソレトモウシタ増
產方面ノ機械其ノ他ニ振向ケルコト云
フコトガ必要デアルカ、之ニ付テ何カ一
ツ御考ヘテ御説明願ヒタイ
○上塚政府委員 先程理財局長カラ申
上ゲマシタ通り、小額紙幣ハ元來非常
ニ耐久力ガ短カイノデス、其ノ結果紙
幣ノ磨滅損耗ト云フノガ激シイデア
ル、其ノ手數ヲ省ク爲ニ硬貨ニ變ヘタ
イト云フノガ、今回硬貨ニ變ヘル所ノ
趣旨ノ一ツデアリマス、而モ軍需方
面ノ要望ガ段々少クナツテ、眞鍮ノ供
給狀態モ餘裕和サレテ來タ此ノ際ニ
於テ、出來ルダケ硬貨ニ變ヘタイト云
フコトデアリマシテ、農村ヘ出ス所ノ
農機具ノ問題トハ別ニ考ヘテ、斯様ニ
決定シタヤウナ次第デアリマス
○坪井委員 其ノ點ハ了承致シマシ
タ、次ニ政府トシテハ今度斯ウシタ措
置ニ依リマシテ、通貨ヲ茲ニ新造スル
ト云フコトヲ決意サレタ譯デアリマス
ガ、實際今ノ總テノ物價面カラ見マシ
テ、果シテ此ノ通貨ガ國民ニ取リマシ
テ、現在ノ物ノ賣買ニ付テドノ位役立

ツテ居ルカ、恐ラク物ハ一ツノ物ヲ買
ツテモ單位ガ五圓以下ノモノハ殆ドナ
イ、今少クトモ殆ド總テノ物ハ一圓以
上ニナツテ、ソレヨリ安イモノハ殆ド
ナイ、シテ見ルト此ノ煩ラ省ク上ニ於
テ、五十錢、十錢或ハ五錢ト云ツタヤ
ウナ小額券ト云フモノハ、是ハ寧ろ私
ハ今ノ現狀デハ殆ド役立ツテ居ラヌ、
斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル、今ノ物價
カラ比較シテ斯ウ考ヘルノデアリマス
ガ、併シ政府ハ成ベク是ハ小額ニシテ
置イテ、ヤハリ「インフレ」ヲ防止シヨ
ウト云フ政策ヲ持ツテ居ルトハ思ヒマ
スケレドモ、ソレハ今ノ實情ニ即シテ
居ヌト思フ、是等ニ付テ「インフレ」
ト此ノ小額紙幣ト、斯ウシタ貨幣ニ付
テノ關係ヲ現實ノ問題トシテドウ考
ヘテ居ルカ、私トシテハ殆ド現在ニ於テ
ハ、是ハ非常ニ造ル手數ガ掛リ、尙ホ
又實際ノ運用面ニ於テ役立ツテ居ラヌ
ト思フ、併シナガラヤハリ一圓或ハ五
圓、十圓ト云ツタヤウナ段々大キナ紙
幣或ハ貨幣ナレバ、結局單位ガ大キク
ナツテ行クカラ、「インフレ」ヲ助長ス
ル處ガアルト言ハレルケレドモ、ドウ
モ現狀トシテハ、我々トシテ斯ウシタ
補助貨幣或ハ補助紙幣、日銀券ト云フ
モノハ殆ド役立ツテ居ラヌト考ヘマス
ガ、私ト致シマシテハ所謂政府ノ施策
宜シキヲ得レバ、決シテ此ノ前ノ封鎖
ノヤウナ大失敗ハシナカッタノデハナ
イカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマ
ス、結局其ノ貨幣ヲ巧ク活カシテ使
フ下ノモノハ全ク死ンデ居ルヤウニ考
ヘ、將來之ヲドウ云フ工合ニ「インフ
レ」ト結ビ付ケテ活カシテ行クカト云
フコトヲ一ツ御諒カセ願ヒタイデア
リマス

○上場政府委員 今坪井君ノ御質問ニ依リマス、小額紙幣ハ餘リ使ハレテ居ナシト云フガト云フ御話デアリマシタガ、統計ヲ見テミマス、十錢、五錢ノ小額紙幣ハ非常ニ需要ガ増殖シテ居リマス、殊ニ五十錢ハ過去五箇年位ノ間ニ三倍近ク流通シテ居リマス、殊ニ金融緊急措置令ガ出マシテ以來、五圓紙幣ヲ急速ニ無効ト致シマシタ結果、五十錢ノ紙幣ガ非常ニ需要ヲ増加シテ來タノデアリマス、現在ハ相當ニ役立ツテ市中ニ使ハレテ居ルト思フノデアリマス、併シハ明年度以後ニ於キマシテ、出來ルダケ回收スル考ヘデ居リマス

○坪井委員 只今ノ御話ニ依リマス、非常ニ五十錢ハ統計ノモ多ク使ハレルヤウニナツタ、使ツテ居ルト云ハレマスガ、是ハ五圓ヲ止メテ五十錢ヲ多ク放出シタカラデアル、所謂使フノデハナクテ使ハシメタト云フ現狀ニアルノデアル、實際私共ガ日常使フノハ五圓モ欲シ、何トカ五圓ヲ殖ヤシテ賣ヒタイ、或ハ一圓紙幣ヲ殖ヤシテ賣ヒタイ、一圓五十錢ノ買物ヲスル時デモ三枚出サナクテハイカヌ、五圓デハ五十錢ヲ十枚數ヘナクテハイカヌト云フノデアルカラ、五圓又ハ少クトモ一圓ヲ多ク出シテ欲シ、ソレカラ五十錢方ハ一圓ノ半數、即チ一圓五十錢トカ二圓五十錢トカ云フコトニナリマスカラ、殆ト是ハ一圓紙幣ノ半分又ハ三分ノ一モアレバ用ガ足リルノデハナイカ、現在ノ狀態カラ見テサウ云フ風ニ考ヘル、ソコデ「インフレ」問題ニ一切觸レテ居ラスガ、ヤハリ私ハ基準ト云フモノヲ五錢、十錢、或ハ五十錢ト云フ小額ノモノニ置ケバ、隨テ政府ハ「インフレ」ト云フモノガ防止サレル

カラ是ガ必要ダトシテ居ルノデハナイカト云フ考ヘモアリマス、其ノ爲ニ結局單位ヲ大キクシテ置ケバ大キク使ハレルカラ、「インフレ」ニナルノデハナイカト云フ考ヘヲ持ツ爲ニ、其ノ點ヲ御伺ヒシタノデアリマスガ、此ノ「インフレ」關係ニ對スル小額紙幣、貨幣ガドンナ影響ト言ヒマスカ、關係ヲ持ツテ居ルガト云フコトヲ先程御尋ネシタガ、マダ其ノ御回答ガナイ、少クトモ私ハ統計上多ク使ハレデ居ルノデナクテ、出シタカラ已ムヲ得ズ使ツテ居ルコトデアツテ、是ハ實際國民ノ間ニ於テ非常ニ不便ヲ感ジテ居ル、少クトモ五十錢ヲモット減ラシテ、一圓紙幣、五圓紙幣ヲ使ツタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ私ノ見解デハ考ヘラレマス、此ノ點如何ニ政府トシテハ考ヘラレマスカ

○齋田政府委員 私カラ御答ヘ申上ゲマス只今ノ五十錢ノ小額紙幣ノ流通狀況ハ、御手許ニゴザイマスル補助貨幣、小額紙幣、小額日本銀行券流通高調ト云フ表ガゴザイマスガ、ソコニアル通りデアリマシテ、五月末ニ於キマシテ五十錢ノ小額紙幣ハ九億八千八百萬圓、約十億圓ニ近イ數字ヲ現示シテ居リマス、此ノ理由ニ付キマシテハ、只今御指摘ニナリマシタ通り或ハ五圓、或ハ一圓、サウ云フモノガ少イ爲ニ五十錢ノ需要ガ殖エテ居ルノデアツテ、實際ハ五十錢ノ需要ガソレ程ナイノダ、斯ウ云フ風ナ御意見モゴザイマシタ、確カニサウ云フ點モ私ハアラウトモ存ジテ居リマスガ、同時ニ五十錢ニ對シテ需要ガアリマスコトモ事實デアリマシテ、色々ナ意味デ何圓五十錢トカ云フヤウナ半端ナ値段ト申シマスカ、寧ロソレガ正常ノ値段トシテ付イテ居ルノモ相當ニアラウト思

フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ九億八千八百萬圓ト云フ需要ガ、色々ナ意味ニ於キマシテヤハリ本當ノ需要ニナツテ居ルノダト云フコトヲ、私共發行當局ト致シマシテハ見ザラ得ナイノデアリマシテ、是ノ需要ガアリマスニ拘ラズ、ソレヲ減ラシテ行クトカ、或ハ別ノ方ニ置キ換ヘルト云フヤウナコトヲヤツテ行キマスコトハ、却テ事實ニ合ハナイ、至メラレタコトニナルノデハナイカト存ジマシテ、此ノ小額通貨ノ發行自體ニ付テハ色々ナ計畫ヲ立テ、居リマスガ、此ノ數字ト云フモノヲ睨ンデ居ル譯デゴザイマス、只今御指摘ノアリマシタヤウナ問題ハ、別ニ日本銀行ノ印刷計畫ノ問題ニナツテ參リマス、五圓トカ一圓トカ印シマスモノモ、相當刷ルコトニ致シテ居リマス、是ハ又印刷ヲ致シマス場合ニ日本銀行券、詰リ何ト申シマスカ、圓以上ノモノニ相成リマス、相當高級ナ印刷ヲ致サナケレバナラヌト云フ關係ガゴザイマス、ト云ツテ簡單ト云フ譯デハゴザイマセマスガ、ヤハリ一工程殖ヤストカ、二工程殖ヤストカ云フ手數ヲ掛ケタモノニ相成ツテ來ル譯デアリマシテ、非常ニ總體ニ見マスト手間ガ掛ツテ、案外ニ五十錢ヲ刷ツタ方ガ宜イカ、或ハ一圓ヲ刷ツタ方ガ宜イカ、或ハ便宜ノ點カラ言ヒマス、一圓ノ方ガモウ少シ多イ方ガ宜イト思ハレル所ガアツテモ、絕對ノ點ヲ造ル場合ニ、生産ノ部面カラ申シマス、五十錢ノ方ガ宜カツタト云フ場合ガアリマシテ、今御指摘ノヤウナコトニナツタ譯デゴザイマス、ソコヲ能ク御諒承願ヒタイト思フノデアリマスガ、尙ホ仰シヤイマス通り「インフレ」

トノ關係ニ於テ、五十錢ト云フ通貨ヲ活カスヤウナ工合ニ、出來ルダケノ施策ヲシロト云フ點ハ、全然御同意申上ゲタイト思フノデアリマス、出來ルダケサウ云ツタ「ライン」デ、五十錢ヲ今後トモ發行シテ行キマス以上ハ、ソレガ國民經濟ノ中デ非常ニ重大ナ役割ヲ占メテ、其ノ本來ノ目的ヲ達シ得ラレマスヤウニ、色々ナ點デヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、又サウ行クコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス

○坪井委員 只今御回答ヲ得マシテ、其ノ點ハ諒承シマシタガ是ハ唯單ニ今圓ノ臨時通貨ニ於テ、特ニ十錢、五十錢ト云フモノヲ増額スルコト云フコトガ必要デアルトスルナラバ、當然ノコトデアリマスルガ、斯ウシタ總テノ通貨ハ、一貫性ヲ持ツテ居ルモノデアリマシテ、隨テ政府ト致シマシテハ此ノ「インフレ」カラ見マシテモ、之ニ現在ノ物ノ價格ト云フモノカラ見ル、私ガ先ニ言ツタヤウニ殆ト役立ツテ居ナイ、五十錢以下ト云フモノガ殆ト役立ツテ居ナイヤウニ考ヘラレマス、併シ是ハ成ベク「インフレ」ヲ防止スルコト云フ施策ヲ、政府ニ於テ執ラレルコトハ當然ノコトト存ジマスルガ、一貫シテ貨幣ト云フモノニ一太關係ヲ付ケタルト云フニハ百圓或ハ二百圓、或ハ千圓ト云ツタヤウナ大キナ紙幣ニナノデアリマシテ、取引ノ單位、買賣ノ單位ト云フモノガ、今ノ物價カラ見マスルト、十圓、百圓、千圓ト云フモノガ非常ニ多ク使ハレテ居リマスルガ、「インフレ」ヲ一ツ通貨ニ於テ抑制シヨウト云フナラバ、成ベク是等ノ額ノ多イモノハ之ヲ引下ゲテシマフ、之ニ依ツテ幾分「インフレ」防止ニモナリハシナイカ、結局通貨ハ一貫性ヲ持ツ

ベキダト、斯ウ私ハ考ヘマス、唯五十錢ガ困ツタカラ五十錢ヲ殖ヤス、十錢ガ困ツタカラ十錢ヲ殖ヤスノダト云ツタ、單ナル臨時のニミ行フベキデハナク、政府トシテハ一貫性ヲ以テ、總テノ通貨ニ付テ考ヘルベキダ、又ソレガ爲ニ「インフレ」ニ對シマシテ、成ベク百圓、二百圓、或ハ千圓ト云ツタヤウナ大キイ額イモノハ之ヲ引下ゲル意ヲアリヤ否ヤ、之ヲ引下ゲルコトニ依ツテ、相當支出ノ面ニ於テ、所謂使フ上ニ於テ活カシテ使ヘルデハナイカ、已ムヲ得ズ大キイモノガアレバ、ドウシテモ手ニ餘計持ツテ居レバ出シテシマフ、餘計使フ、又餘計出レバ隨テ「インフレ」トナル、此ノ點ヲ又一貫性ヲ以テマシテ、將來ドウ云フ通貨ノ統一ヲ圖ツテ行クカ、或ハ發行シテ行クカト云フコトニ付テ、今日ノ此ノ臨時通貨ト關聯致シマシテ、一貫性ヲ持ツタ將來ノ方針、尙又「インフレ」ニ對シマシテノ大藏大臣ノ御所見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○荒船委員長代理 此ノ際一寸申上ゲマス、大藏大臣ガ十一時十分マデニ次ノ會場ヘ行カナケレバナリマセヌノデ、大藏大臣ニ對シマスル質問ヲ先ニ御願ヒシタイト思ヒマス、隨ヒマシテ時間ガアリマセヌカラ、ドウゾ要旨ダケ述ベテ戴キマス

○石橋國務大臣 實ハ御質問ヲ途中カラ伺ヒマシテ、ハツキリシナイ點ガアルカトモ思ヒマスガ、無論「インフレ」ヲ防止シハ通貨ノ側面ノ工作ヲ要シマスノデ、御話ノヤウニ通貨ノ中ノ五十錢トカ一圓トカ云フモノヲ切離シテハ考ヘラレマセヌカラ、全體トシテノ通貨發行高ト云フモノニ付テノ施策ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマス、併シ唯

物價ノ全體ノ水準ヲ下ゲルト云フ意味
ダケガ所謂「インフレ」對策アルナラ
バ、通貨ヲ引締メレバソレデ事情ガ濟
ム譯アリマスガ、今日ノ場合ハ此ノ
物價騰貴ガ、一面ニ於テ飢饉物價トナ
ツテ居ル狀況デアリマスカラ、私ハ無
論通貨ヲ放漫ニシテ宜イト云フ譯デハ
ナイノデアリマスガ、ドウシテモ生産
ノ方ヲ第一ニ考ヘナケレバイカス、全
體ノ水準ガ下リマシテモ、今ノヤウナ
生産ノ狀況デアリマス、其ノ下ツタ
水準ノ中デ、食糧ガ高イトカ何ガ高イ
ト云フ、諸君各個人ノ國民ノ收入モ
減ル、其ノ收入ガ減ルト同時ニ、物價
モ下リデアリマセウケレドモ、ヤハリ
其ノ收入ニ比較スレバ高イ物價ニナ
ル、斯ウ云フ結果今日ノ場合ハ來ス
ト考ヘテ居リマス、デスカラ私ガ本會
議等デ増産ノ方ヲ第一ニ努メナイト、
今日「インフレ」ノ防止ハ困難ダト申
上ゲマシタ理由ハ、ソコニアル、平時
非常ニ長氣ノ好イ場合ニ起ツテ居ル
「インフレ」ト、今日「インフレ」トデ
ハ、其ノ對策ヲ多少異ニシナケレバナ
ラヌ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス
○荒船委員長代理 昨日坪川君カラ特
ニ大藏大臣ニ對シテ質疑ノ通告ガアリ
マス、此ノ際時間ガアリマセヌデ、
坪川君ニ發言ヲ許シマス
○坪川委員 御多用中大藏大臣ノ御出
席ヲ煩シマシテ洵ニ恐縮デゴザイマ
ス、極ク簡單ニ根本ナル問題ニ付キ
マシテ、短ク御尋ネテ致シタイと思ヒ
マスカラ、御諒承願ヒタイと思ヒマ
ス
通貨膨脹ガ四百二十五億圓ヲ突破シ
テ居リマス現在、問題ハ通貨ノ流通ヨ
リモ、放出サレタル通貨ガ出ツ放シ
デ、所謂金融機關ニ還流シナイコトデ
アリマス、又流通速度ガ非常ニ増シツ

ツアルコトデアリマス、更ニ通貨ノ偏
在モ亦注目スベキモノデアリマス、即
チ都市ニ近接シタ農村方面トカ、或ハ
生活必需品ヲ製造販賣業者ナドニ集
中致シマシテ、他ノ方面ニハ通貨僅
トモ云フベキ現象ヲ起シテ居ルデア
リマス、此ノ點ニ付キマシテ通貨ニ對
スル信用ノ動搖、或ハ物價ノ不足ト値
上リガ根本的原因ヲナシテ居ルト思ヒ
マス、私ハ此ノ通貨ノ信用回復ガ、先
決問題ニナルノ點ト思ヒマスガ、之ニ
對スル大藏大臣ノ御方策如何、例ヘテ
申スナラバ所謂當座トカ、或ハ當座ノ
ヤウナモノノ活用、或ハ其ノ他ノ方法
デ、資金ノ吸收方策ヲ終ルカドウカト
云フコトヲ、御尋ネ致シタイノデアリ
マス、是ガ第一點デアリマス
○石橋國務大臣 通貨放出ツ放シテ廻
流シナイコト云フコトハ、御説ノ通り
デアリマス、ソレカラ流通速度ノコト
ハ、實ハ十分ノ調査ヲ行ハカナイ譯デ
アリマスガ、案外誤解ヲサレテ居ル部
分モアリマス、流通速度ハ案外低
イノデハナイカトモ思フデ居ルデア
リマス、併シ何レニシテモ通貨放出ツ
放シデ、銀行ニ廻流シナイコト云フコト
ハ、非常ニ不健全ナコトデアリマス
テ、退蔵サレテ居ルニシテモ、通貨ニ
對スル信用ト云フコトハ、通貨ニハ寧
ロマダ信用ガアルノデアリマスガ、政
府ガ今後何ヲスルカ分ラヌト云フヤウ
ナ不安カラ、退蔵サレテ居ルノデハナ
イカト思ヒマス、ソコデサウ云フコト
ニ付テハ、例ヘバ新圓ニ付テハ絕對ニ
封鎖シナイコト云フコトヲ我々ハ言明シ
テ居ル譯デアリマスガ、マダソレガ國
民ノ間ニ十分徹底セズ信セラレナイコ
トヲ遺憾ト致シマスガ、是ハ一面ニ於
テ經濟界ノ整理ヲ相當ニ行ヒマシテ、

或ハ金融機關等ノ信用ヲ十分確立致シ
マシ、同時ニ、今御話ノ實態等バカ
リデナク、モット預貯金ヲ吸收スル方
策ヲ強力ニ金融機關等ヲ動員シテヤ
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デア
リマス
○坪川委員 大臣方屢次ニ互リマシテ
發表サツツテ居ラレマス談話等ヲ拜見
致シテ居リマス、ト「インフレ」對策、
通貨膨脹ニ關シテ重要ナコトハ、生産
ヲ増強シ且ツ前途ニ對スル國民ノ不安
感ヲ除去スルニアルト云フコトヲイツ
モ仰シヤツテ居ラレマスガ、之ニ對シ
テ私ハ大藏大臣ニ異論ヲ插ム者デハア
リマセズガ換言スレバ、均衡ヲ失ヒ又
支離滅裂ニナツテ居リマス、日本ノ經
濟ヲ如何ニ又再健全ナル有機的ナル
國民經濟ニ復舊スルカ、其ノ方策如何
デアリマシテ、自由放任ニ依リマシテ
生産ノ増強ヲ望ムコトハ可能デアルカ
モ知レマセヌガ、併シ時ガ掛ルと思ヒ
マス、私ハ日本ノ「インフレ」ハ時ヲ待
テ切レナイ程切迫シテ居ルモノト思ヒ
マス、此ノ不可避的ナ「インフレ」ヲ最
小限度ニ抑止メ戴クニハ商品ノ流通ヲ
増加スルニ依リマスガ、現實ニ於テハ
生産ハ一向ニ再開サレテ居リマセヌ、
サウシテ私ハ此ノ生産ニ關シマシテモ
生産出來得ナイ、狀況ニナツテ居ルノ
デハナイカト思ヒマス、例ヘテ申シタ
ナラバ、其ノ理由ト致シマシテハ、企
業モマダ徹底的ニ整理サレテ居ナイト
云フコト、或ハ原料トカ資源ガ極度ニ
枯渇シテ居ルト云フコト、或ハ金融制
度ガマダ徹底的ニ改革サレテ居ナイ、
斯ウ云フヤウナ面カラ致シマシテ一向
生産ト云フモノハ上ラナイノデヤデ
イカ、又一方デハ日銀券ガモウ四百五十
億圓ヲ突破シテ居ルト云フヤウナコト

ニナツテ居リマス、又一方ニ於テハ米
ノ運配ハ一箇月以上ニモ上ツテ居ル、
國民ノ大多數ハ關物資ヲ買ツテ居ル、
此ノ關物資ヲ買ツテ五百圓生活ハ營
ミ得ナイノデアリマス、更ニ運賃トカ
煙草トカ或ハ郵便、總テノモノガ値上
ツテ居リマシテ、家賃トカ月謝トカ或
ハ醫療ナドガ封鎖支拂ヲ許サレマシテ
モ、國民ノ五百圓生活ハ可能デナイノ
デアリマス、之ニ對シテ國民ノ生活
ヲ保障スル爲メ慎重ナル大藏大臣ノ根
本的ナル御考ヘヲ承リタイノデアリマ
ス
○石橋國務大臣 中々大問題デアリマ
シテ、時間ガ非常ニ少クテ十分ノ御答
ガ致シ難ネルノデアリマスガ、今ノ生
産ヲ増サナケレバ「インフレ」ノ防止ガ
出來ナイト申シマシタコトハ、先程モ一
寸申上ゲタヤウニ、今日「インフレ」
ノ形ハ、生産ガ非常ニ増加シテ其ノ上ニ
通貨ガ膨脹シタト云フノデナク、種々
ガ非力ガ不足シテ物價ガ高イト云フ面
ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、單ニ
通貨ノ收縮ダケデハ皆ク行キマセヌノ
デ、ドウシテモ生産ノ増強ヲ第一ノ條
件ニシナケレバナラヌト考ヘマスガ、
御話ノ通り生産ヲ再開スルコトハ困難
デアリ、其ノ困難ノ證據ハ今マデ運
運トシテ進マナイコトデアリマスガ、
更モ角モ大藏關係ノ問題トシテハ、
御話ノ中ニモアリマシタヤウニ、現在
ノ企業ノ整理面ノ整理、金融機關ノ整
理、ソレ等ノコトヨリマシテ、サウ
シテ企業ガ整理上カラ再出發スルコト
ノ出來ル基礎ヲ一ツ速カニ作リタイ
ト努力シテ居リマス、尙ホ資材等ノコ
トモ、是ハ言フマデモナイコトデ、敗戰
後ノ今日不足デアアルコトハ勿論デアリ
マスガ、併シ現在國內ニアリマスモノ

デモ、本當ニ整理面ガ整理サレテ各企
業ガ活動出來ルヤウニナレバ、或ル程
度ノ繁榮ノ資材ハ相當ニアルノデハナ
イカ、其ノ内ニ貿易モ出來ル譯デアリ
マスカラ、其ノ方面カラノ處置モ執レ
ルノデハナイカ、其ノ點ハ決シテ樂觀
デハアリマセヌガ、ヤレル方策ハ必ズ
アル、斯ウ云フ風ニ信ジテ居ル譯デア
リマス
○坪川委員 大臣非常ニ御急ギノヤウ
デアリマスカラ、之ニ付テ關聯的ナ質
問ハ止シマシテ、最後ニ一點ダケ御伺
ヒシタイノデアリマスガ、所謂此ノ新
圓ガ放出サレマシテ、日本ノ經濟ノ復
興ハ唯徒ラニ遲延シ、更ニ企業、銀行
等ノ大量ノ破産ガ現出シマシテ、日本
ノ經濟ハ深刻ナル恐慌ヲ來ス處ガアル
ト思ヒマス、此ノヤウニ越エ難イ所
ノ、何カ知レナイ矛盾ト云ヒマスガ、
苦惱ト云ヒマスガ、此ノ中ニアリマシ
テ大藏大臣ハ、利潤トカ或ハ生産手段
ニ對シマシテ、所謂私有或ル程度無
視シテモ企業トカ或ハ金融ノ徹底的整
理ヲ急遽ニ且ツ計費的ニ御進メナリ
マスヤウナ御考ヘガアルカドウカト云
フコトヲ最後ニ御尋ネシタイノデアリ
マス
○石橋國務大臣 私ハ今ノ所デハ私有
財産ヲ無視スルコト云フ所マデニハ考
ヘテ居リマセヌガ、無論企業ニ依リマシ
テハ、例ヘバ或ル程度マデ國家管理ヲ
必要トスル、サウシナケレバ増産ハ出
來ナイト云フヤウナモノハ其ノ程度マ
デ進シテ結構ダト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ此ノ企業ノ整理上ノ整理或ハ金
融機關等ノ整理ハ、是ハ成べく早イ機
考ヘテ居リマス
○坪川委員 是デ一應打切りマス

○荒船委員長代理 坪井君——簡單ニ御願ヒシマス

○坪井委員 簡單ニ致シマス、大蔵大臣ニ御尋ね致シマス、通貨ノ膨脹ニ依ル悪性「インフレ」ガ非常ニ増シ、國民ノ恐怖ノ的トナツテ居リマス、此ノ前ノ封鎖ハ全ク大失敗デアリタト國民又我々ハ考ヘテ居リマス、之ニ付キマシテ先程大蔵大臣ハ、新國封鎖ハヤナイ方針ガマダ一般ニヨク知ラレテ居ラスデヤナイカト言ハレマシタガ、私ハ、此ノ前ハナゼ失敗シタカト云フ原因ハ、是ハ財産稅ノ發表ヲ早クシタ爲ニ資本家ハ殆ド封鎖前ニ物ニ換ヘテシマツタ、物ヲ買占メタ、隨テ物ガナクナツテ、今度ハ封鎖ヲシテカ物ノ價格ガ數倍ニ上ツテ、新國封鎖ヲ望ミタ、結局資本家ガコレニ依ツテ多クノ利潤ヲ得タ、財産稅ノ對象モ、殆ド現金ノ大半ハ物ニナツテ居リタカラ、ツイ根據ヲ失ツテシマツテ居ル、隨テ其ノ物ガ金ニナツタ新國ニ於テ又特定者ガ物ノ買占ヲヤツテ「インフレ」ニ拍車ヲ掛ケテ居ル現狀デヤナイカ、ドウシテモ此ノ「インフレ」防止、國民生活ノ安定ヲスルニ於テハ是ハ今一度再封鎖ヲ斷行スルコトガ私ハ必要デアリト思フガ、大臣トシテハ是ハヤラスヤウニ言ハレテ居リマスガ、私ハドウシテモ是ハモウ一度再封鎖ヲシナカッタナラバ決シテ此ノ惡性「インフレ」ヲ防グト云フコトハ出來ナイト思フ、併シ大臣ノ見解ハ、之ヲヤレバ結局資金ノ放出ガ出來ナクナリ、生産ガ非常ニ減退シテ、其ノ影響ガ大キイデハナラト云フ風ニ窺ハレテ居リマスケレドモ、サウ云フ點デアラナラバ、私共此ノ増産資金ハドシノ一ツ或ル限度ヲ

逸脱シテモ放出額ヒタイ、サウシテ生活ニ必要ナル生産ニ付テハ限度ヲ大幅ニ一ツ引上ゲテ行ツテ此ノ放出ノ額ヲコトガ全ク生産ノ増強ニナリ國民生活ノ安定ニナル、一面ニ於テ「インフレ」ト云フモノニ付キマシテモ、今一度再封鎖ヲヤルト云フコトガ必要ダ、斯ウ私ハ考ヘマス、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙又……

○荒船委員長代理 時間ガナイヤウデスガ、大臣ノ答辯ハソレデケデハイケマセスカ

○坪井委員 ソレデハ以上ニシテ置キマス

○石橋國務大臣 御言葉デアリマスガ、現在ノ新國ヲ再封鎖スル、サウシテ又新シイ封鎖預金ヲ作ルト云フコトハ、是ハ恐ラク其ノ弊害ノ方ガ多イダラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレヨリハモット他方ノ整理ヲ致シマシテ、自然サウスレバ通貨ト云フモノモ減ツテ參ル管デアリマスカラ、先ヅ經濟界全體ノ整理ヲ進行サセマシテ、新國ト云フモノニ付テノ流通ガ滑ラカニナルヤウナ方策ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、サウ云フ御言葉ノヤウナ再封鎖説ガアルモノデスカラ、色々恐怖モ與ヘルデアリマセウガ、私ハサウ致サズニヤハリ通常ノ銀行其ノ他ノ金融機關ノ活動ニ依ツテ、之ヲ吸收スル方法ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○荒船委員長代理 大臣ニ一言上ゲテ置キマスガ、何ニ致シマシテモ僅カ十五分デハ本委員會ノ委員ノ御質問ガドウモ極メテ時間ガナイノ出來ナイト思フノデスガ、次會ニハ是非モウ少し時間ヲ藉シテ載キマスルヤウニ御願ヒ致シマス

○坪井委員 大臣ガドウシテモ他ニ用ガアルト云フコトデスカラ、次官ニ御尋ね致シタイト思ヒマス、只今大臣モ申サレテ居ルヤウニ、ドウシテモ現在ハ通貨ノ膨脹ヨリモノ増産サセルト云フコトガ必要ダ、之ニ依ツテヤハリ安定ヲシテ行カウト云フ御見解ノヤウデアリマスガ、私共現在ノヤウナ資金ノ封鎖サレテ居ル、特ニ一般國民一箇月一人百圓ヲ以テ封鎖支拂ガ出來ル譯デスガ、農家は此ノ百圓ガ認メラレテ居ラナイト云フヤウナ現狀デアリタハ、増産ニ一大支障ヲ來ス、總テ農機具、或ハ家畜、或ハ肥料、飼料、斯ウシタモノヲ買フ上ニ於テモ非常ニ農家トシテハ不便ヲ感ジテ居リマスノデ、結局是ガ通貨ト云フモノニ大關係ヲ持チマスノデ、特ニ農村ニ於テハ現金收入ガ非常ニ少イ、尙又配給サレル物資ハ一般同様に購入シテ行カケレバナラス、斯ウ云フ時ニ於テハ少クとも農家はモ同ジヤウニ封鎖支拂ヲ認メテ貰ヒタイト思フガ、此ノ意思アリヤ否ヤ

次ニ政府ハ封鎖支拂ニ依リマシテ増産資金ト云フモノハ、ソレノ國家再建ニ重要ナル資金ニ付テハ、尙ホ再檢討ヲ加ヘテ其ノ限度ヲ大幅ニ引上ゲル意思アリヤ否ヤ、是ガ唯口デ色々大臣始メ増産ガ先ダト言ハレマシテモ、實際ニ於テソレヲ放出シテ梓ヲ外シテ貰ハナケレバ増産ガ出來ナイト云フ現狀ニ在ル時ニ、ソレヲ大幅ニナル意思アリヤ否ヤ、例ヲ舉ゲレバ鶏ニ餌ヲ與レズニ卵ヲ産メト言フ如キ言辭デハドウモ我々ハ物足ラナイ、本當ニ増産或ハ生産ヲ必要トスル其ノ資金デアラナラバ、大幅ニ必要缺クベカラザル範圍ニ於テ限度ヲ引上ゲテ貰フ、之ニ付テ

意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御尋ね致シタイト思ヒマス

尙ホ政府ハ政府自ラ直營シテ居ル事業其ノ他ニ於キマシテ勞働賃金トカ色色大幅ニ引上ゲラシテ行ク、之ニ依ツテ資金ガドンドン放出サレル、隨テ此ノ放出サレタ金ニ依ツテ、尙又生活必需品ノ購入ニ件フ「インフレ」ハ益々日ヲ逐ツテ激化シテ行クト云フ現狀ニ在ル、政府自ラガ「インフレ」ノ範圍ヲ示スト云フコトハ、何ト申シマセウカ、五百圓ノ限度ヲ決メテ置キナガラ、如何ニ待遇ヲ改善シテモ、ソレ以上ハ使ヘヌノデハナイカト私ハ考ヘマス、結局眞ニ一人百圓、一箇月五百圓ト云フ限度ガ實際ニ必要ナモノデアラナラバ——國民ノ生活ノ安定ト云フ點カラ見レバ、實際ニデハ安定シテ居ラスト思フ、赤字ダケノモノハ、ドウシテモ待遇改善ト相俟ツテ五百圓ノ限度ヲ殖シテ貰ハナケレバ、現在國民生活ノ安定ガ出來ナイ、實際五百圓デアレヌモノヲヤレト言フノハ、是ハ無理ヲ強ルモノデアルト私ハ考ヘマス、此ノ通貨ニ付テ此ノ限度ヲ政府ニ於テ慎重ニ考ヘラレテ居ルカ否カ、又將來ドウ云フ方針デ之ヲ處理シテ行カト云フコトニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、大體以上デアリマス

○上塚政府委員 御質問ノ第一ノ農家ノ生活資金ノコトデアリマスガ、是ハ五百圓ノ枠内ニ總テノ人々ヲ置カト云フコトハ非常ニ無理ダト思ヒマス、併シ農村ニ於キマシテ特ニ認メナカッタノハ、都會地方トハ違ツテ多少ノ食糧ヲ持ツテ居リマスシ、現金ニ付テモ幾ラカ餘裕ヲ持テ得ルト考ヘテ左様ニ決定シタ次第デアリマス、肥料トカ或ハ其ノ他ノ特殊ノモノニ付キマシテハ封鎖支拂ヲ認メテ居ルノデアリマス、出來ルダケサウ云フ意味ニ於テ緩和シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

第二ノ増産資金ニ付テノ封鎖拂ヲ出來ルダケ緩和シテ貰ヒタイト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ最近モ通關ヲ出シマシテ通リニ、生産資金ニ付キマシテハ貸出ト云フ方法ヲ採リマシテ、其ノ生産ガ産業ノ發展ノ上ニ大ニ必要ダト云フモノニ付キマシテハ、特ニ寛大ナル方法ヲ以テ銀行ヲシテ貸出サシムルト云フ手段ヲ採ツテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ大體資金ノ需要ニ應ズルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

第三ノ労働賃銀ノ放出ガ「インフレ」ヲ増ス原因ニナツテ居リハシナイカト云フ御尋ねデアリマシタガ、是ハ勞働者ノ働キニ依ツテドンドン「生産ガ増シテ來ルト云フコト」ニナリマスレバ「インフレ」ノ原因ニハナラナイト思ヒマス、結局ハ其ノ勞働賃銀ガ直物ニ生産セラレテ行カドウカト云フコトニ懸ルトサウ考ヘテ居リマス

○坪井委員 先程ノ第一點ノ御答ヘデアリマスガ、農家ハ色々現金ガ入ルモノトシテ、一般トハ違ツテ封鎖支拂ガ認メラレナイト云フ御話デアリマスガ、現在ノ生活カラ見マス、農家ハ殆ド供出ノ公定價格ヲ致シマシテ、食シテ後ノ残りハ販賣スルモノハ僅カデアリマシテ、殆ドナイノガ通例デアリマス、サウシテ現狀カラ見テ農家目體ニ於キマシテモ教育或ハ其ノ他色色——最近ハ變ツテ月謝其ノ他封鎖支拂ノ解カレタヤウデアリマスガ、サウシタコトハ後々タルモノデアツテ、私ノ申上ゲルノハ肥料ハ先程勿論言イト言ハレマスガ、農機具或ハ家畜ト云ツ

昭和二十一年七月二日

タモノ一馬一匹買フニシテモ一萬圓出サナイト現在ハ買ヘナイ、或ハ牛ノ七、八千圓デアルトカ或ハ「リヤカー」ノ四、五千圓デアルトカ云ツタヤウニ、簡單ナ農機具ヲ買フ場合ニ於テモ或ハ又家畜ヲ買フ場合ニ於テモ非常ナ金ガ要ル、斯ウシタ物ヲ農家ハ自分ノ金ヲ持ツテ居リナガラ貸付ニ依ツテ、所關借金デ之ヲヤツテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ合法的デナイト思フ、一般ノ企業ニサウシタ方法ヲ採ルト言ハレルナラバ兎ニ角、農村ニハサウシタ方法デハ拙イト思ヒマス、金ヲ持ツテ居ル農村デアルノダカラ、所謂食糧増産ヲ目指ス時ニ於テハ、ソレニ必要缺クベカラザルモノニ付テハ當然封鎖支拂ヲ解イテ藏ク、梓ヲ外シテ賣フト云フコトガ當然ノコトダト私ハ考ヘマス、

是ハ政府ハ御認識ガナイト云フカ、見解ガ餘リニモ一唯際ヲ開イタズケデヤレ農家ハ間フヤルカラ金ガ入ルノダト云フヤウナコトデ、單純ニ考ヘラレマスガ、農村トシテハ大迷惑ヲスル、増産バカリデハナク、供出ニ對シテモ是等ノコトガ非常ニ影響ヲ齎シテ居ル、戰爭中農村ハ全ク供出攻メニ遭ツテ居ル、尙ホ今後モドウシテモ農民ノ道義ニ懇ヘテ之ヲ供出サシテ行カウト云フ時ニ於テ、前申シタヤウナコトハ非常ニ精神ヲ沈滞サセル大キナ原因キナリマスノデ、是非トモ生活費ニ付キマシテモ一般並ニシテ賣ヒタイ、尙ホ又サウシタ主要ナル農具等ノ資金ハ是非トモ之ヲ御認め願フヤウニ政府トシテヤツテ賣ヒタイ、是ハ必ズサウシナクテハナラナイモノダト私ハ痛感シテ居リマス、是等ノ點ニ付テ御答ヘ願ヘルナラ御伺ヒシタイト考ヘテ居リマス

○上塚政府委員 今御話ノ農業資金ノ中デ牛馬等ノ買入レニ要スル資金ニ付キマシテハ農林省ノ方ト今話ヲ致シマシテ、其ノ全額デナクモ體カ半分位ハ現金ニ依ツテ支拂ノ出來ルヤウニ決定シタト考ヘテ居リマス

ソレカラ農機具ニ付テハマダハツクリシタコトハアリマセヌガ、何レサウ云フコトニ付キマシテモ、農林省ト十分ニ打合セテ致シマシテ出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○荒船委員長代理 坪井君ニ申上デマスガ、御質疑ハゴザイマセヌカ

○坪井委員 以上デス

○田村委員 私人聽カントスル所ハ坪井君ニ依ツテ大半聽カレタノデアリマスガ、私が第一番ニ御聽キシタイノハ、先程政務次官デアリマスガ、今ノ通貨五十錢、十錢ヲ今度換ヘルニ當ツテ、重要資源デアル眞鍮其ノ他ガ相當豐富ニアルト云フ風ニ言ハレタト思フノデアリマス、私ハ今日眞鍮其ノ他ガ産業上ナクテハナラヌコトハ無論政府ト同感デアリマスガ、此ノ五十錢、十錢ノ通貨ヲ發行サレルニ當ツテ幾ラノ推定量ガ要ルカ、又今日多分ニアルト申サレマシタ眞鍮其ノ他ガ日本ニドレ位アルカ、推定量デ宜シウゴザイマスカラ御聽キシタイノト、隨テ私ハ工業地帯ニ居ルマスガ、石炭其ノ他ニ必要ナル所ノ機械器具ヲ換ヘルニ當ツテ、眞鍮額ガ足りナイト云ツテ感シ悲鳴ヲ上ゲテ居ルノデアリマス、サウシタ點カラ考ヘマシテ、先程大藏大臣モ今日「インフレ」ヲ防止スルノハ産業ノ増産ニアルト云フコトヲ言ハレタヤウデアリマスガ、サウシタ資料ガナクシテ

重要産業ノ根源ヲナス石炭ガ今日取レナイ、其ノ原因ハ幾ツモアリマスガ、サウシタ資料難ニモ原因スルノデアリマスガ、若シサウシタ眞鍮額ガ相當數量アルトスルナラバ、ソレヲ重要産業ニ御廻シナル意思ガアルカドウカ、今ノ五十錢、十錢ノ通貨ヲ何年掛リデドレ位御換ヘナルノカ、其ノ量ト、ソレニ關聯シテ今日百圓、十圓或ハ二百圓ト云フ紙幣ガ發行サレテ居ルノデアリマスガ、是等ガ今日ノ新聞ヲ見マスト四百二十幾億放出サレテ居ルト云フ風ニ出テ居ツタノデアリマスガ、舊國封鎖同時ニ新聞拂出ニ當ツテ本當ニ新シイ札ガ出タノモアリ、又御承知ノヤウニ證紙デ之ヲ補ツテ居ルト云フ關係上、今日尙ホ其ノ證紙ガ貼附シタル爲ニ往々ニシテ證紙ヲ失ツタリ或ハ色々ノ取引ニ於テ國民ハ其ノ證紙ヲ數ヘル度ニ非常ニ苦勞シテ居ル、其ノ證紙ヲ貼ツタ金ヲ一體何時頃マデニ新圓ト取換ヘルノデアアルカ、急速ニヤルトスレバ何時頃マデニソレガ完了スル見込みカト云フコトガ第一點、ソレカラ今ノ坪井君ノ申サレテ居ツタ勞働者或ハ「サラリーマン」諸君ノ五百圓生活デアリマスガ、是ハ政府ノ言ニ依リマシテモ、無論我々ノ考ヘデモ、色々「インフレ」ノ助長ニナルト云フコトガ原則アルカハ如ク見エルトデアリマスガ、今日本當ニ五百圓ノ新圓デ生活ガ出來ルカドウカト云フコトハ、政府當局デモ御自身ニ體驗ニナツテ居ルト思フノデアリマス、今日勞働者諸君ガ五百圓ノ新圓ヲ貰フ、隨テ家族三人居ソテ五百圓シカ入ラナイト云フ場合ニハ、事實上生活ハ出來ナイノデアリマス、隨テ色々點ニ於テ不便ヲ感ジ、假ニ私自身ハ今日戰災後商賣シ

テ居ナイ、サウスルト五百圓シカ實際ニ於テ出セナイト云ツタ場合、五百圓ハ實際ニヤツテ行ケナイト云フ現實ノ問題トシテ、私ハサウシタ現實ニ家族ガ三人モ四人モ居ツテ一人シカ働ケナイ人ニ對シテハ、或ハ又五百圓シカ出セナイト云フヤウナ者ニ對シテハ特殊救済ヲスル意思ガ政府ニアルカナイカト云フコトト、モウ一ツハ戰災者デアリマス、戰災者デモ今日戰災失ヒ或ハ色々商賣ヲ失ツテ居ル、隨テ幾分か溜メテ置イタル所ノ金ヲ五百圓宛出シテ商賣シヨウニモ、或ハ何モ資金ガナイト云フヤウナコトデ、デモ貧乏結局ナクナツテシマフト云フヤウナ狀態ガアリ、又戰災者ニ幾分かノ金ガ、著物ヲ買フカ或ハ又家財道具ヲ買フ場合ニ於テ出セルコトニナツテハ居ルモノノ、事實上今日ノ物價高デハ、政府ノ指示シテ居ル通りデハ買ヘナイ狀態ナノデアリマス、現實ニ東京ハドウカ知リマセヌガ、私ノ方ノ土地デモ今年ノ冬カンカハ浴衣デ越シタ人間モ相當居ルノデアリマス、總テノ配給物ニハ最近デハ現金ヲ出スコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ配給ト云ツテモ微々タルモノデアアル、サウ云ツタ點ニ於テ必要缺クベカラザル戰災者ニ對シテハ、相當大幅ニ資金ヲ封鎖預金カラ政府ハ出シテ賣ヒタイト思フガ、サウ云フ意思ハ全然アルカナイカト云フ點、以上ヲ御聽キシテ見タイト思ヒマス

○上塚政府委員 今ノ第一ノ御質問ノ眞鍮ノ所要量ニ付キマシテハ、今チヨット書類ニ依ツテ調べマシテ、御返答致シマス

ソレカラ銀行券ノ證紙ノ問題デアリマスガ、是ハ出來ルダケ早く證紙ノ紙幣ヲ回收シテ一元ニ致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、只今ノ所デハ八、九月頃ニハ回收ヲ終リタイト云フ考ヘデ居リマス

ソレカラ第三ノ職ノナイ人ニ對スル五百圓以上ノ封鎖ノ解除デアリマスガ、是ハ其ノ人々ノ事情ニ應ジマシテ御相談ニ應ジテソレハ決定致シテ居リマスガ、出來ルダケ戰災者等ニ付テモ、引出シテ、商賣デモスルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ事情ヲ承リマシテ、其ノ場合々々ニ依ツテ決定シテ居ルノデアリマス

○田村委員 政務次官ノ御答ヘニ依ルト、戰災ニ遭ツタ者ハ其ノ生活ノ程度ニ依ツテ或ハ出セル、或ハ商賣モ其ノ場合ニ依ツテ相談ニ應ズルト云フヤウナコトヲ今言ツテ居ラレタヤウデアリマスガ、地方ノ金融機關、或ハ又サウシタ方法ハ我々ハツキリ知ラナイ、國民モ無論知ラナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ便法ガアリマスレバ、地方ノ金融機關或ハ又其ノ他ノ機關ヲ通ジテ宜シク國民ニ御指導ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○櫛田政府委員 先程ノ所要眞鍮量ノ問題ニ付デアリマスガ、大體本年度ニ於テハ約三億圓ノ五十錢ヲ造ル計畫デ居リマス、ソレニ必要眞鍮額ガ約二千「トン」ニ相成リマス、是ハ造幣局デ既ニ手當濟ミナノデアリマスガ、關係方面、ソレカラ或ハ商工省デアリマスカ、サウ云フ方面ト十分ニ相談シテ、全體ノ經濟ノ枠ノ中デ、是ハ大丈夫デアルト云フコトデ、ソレデケテ造幣局ノ方デ今用意シテ居ル、斯様ニナツテ居リマス

○田村委員 私が伺ツタノハ結局今ノ眞鍮ナドハ無論大藏省關係デハナイカ

紙幣ヲ回收シテ一元ニ致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、只今ノ所デハ八、九月頃ニハ回收ヲ終リタイト云フ考ヘデ居リマス

ソレカラ第三ノ職ノナイ人ニ對スル五百圓以上ノ封鎖ノ解除デアリマスガ、是ハ其ノ人々ノ事情ニ應ジマシテ御相談ニ應ジテソレハ決定致シテ居リマスガ、出來ルダケ戰災者等ニ付テモ、引出シテ、商賣デモスルト云フヤウナ場合ニハ、其ノ事情ヲ承リマシテ、其ノ場合々々ニ依ツテ決定シテ居ルノデアリマス

○櫛田政府委員 先程ノ所要眞鍮量ノ問題ニ付デアリマスガ、大體本年度ニ於テハ約三億圓ノ五十錢ヲ造ル計畫デ居リマス、ソレニ必要眞鍮額ガ約二千「トン」ニ相成リマス、是ハ造幣局デ既ニ手當濟ミナノデアリマスガ、關係方面、ソレカラ或ハ商工省デアリマスカ、サウ云フ方面ト十分ニ相談シテ、全體ノ經濟ノ枠ノ中デ、是ハ大丈夫デアルト云フコトデ、ソレデケテ造幣局ノ方デ今用意シテ居ル、斯様ニナツテ居リマス

モ知レヌガ、サウシタ重要産業ニ必要
缺クベカラザルモノデナル、隨テ「イ
ンフレ」ヲ防止スルニシテモ現在ノ産
業ヲ勃興サセル其ノ根源ヲナス石炭關
係ノ方面ニ於テハ、サウシタ資材ガナ
クテ困ツテ居ルト云フ點ヲ御認識ニナ
シテ、各方面トモ御相談ノ上、餘ツテ居
レバソレヲサウ云フ重要方面ニ廻シテ
實ヒタイト云フコトノ希望ヲ申上ゲテ
置キマス

○坪川委員 本日ハ是ニテ質疑ヲ打切
ラレマシテ散會シ、明三日午前十時ヨ
リ再び質疑ヲ續行致サレンコトヲ望ミ
マス

○荒船委員長代理 坪川君ノ御意見ニ
御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○荒船委員長代理 ソレデハ是ニテ散
會致シマシテ、明三日午前十時開會、
質疑ヲ續行致シタイト思ヒマス
午前十一時三十八分散會

昭和二十一年七月二十四日印刷

昭和二十一年七月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局